

電鑄の基礎技術と最新状況と新たな可能性

※職場や自宅のノートPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法などは申込後にご連絡いたします。

- ◆日時: 2022年1月28日(金) 13:00~17:00
- ◆会場: 自宅や職場などで受講可(WindowsPC推奨)
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**38,500円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

★HPはこちら ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/220193>

●講師:

GDLAB合同会社 代表 川上 俊介 氏

<ご略歴>

1981-1991年 新豆陽金属工業(株)
1991-2016年 JX金属商事(株)
2016年 - 電鑄・表面改質技術研究所
2017年 - GDLAB(同)に商号変更

《講座の趣旨》

電鑄技術は古くから利用されており、金属のコピーといわれるレコード用スタンパーから、フォトリソ技術の融合によりDVD、BDのスタンパー、メタルマスク、印刷用メッシュ等の微細加工に普及してきた。近年では、通常の機械加工では製造が困難な高精度、超微細部品にその電鑄技術と微細加工技術の組み合わせによるMEMS部品やインクジェットノズル、噴射ノズル等の量産が始まっている。

今回の講演では、現場事象として、光ディスクマスタリング(ニッケル電鑄スタンパー製造)における、トラブルシューティングを通じ、ニッケル電鑄の基礎技術から、解決に至る工程を事例とともに紹介する。また、最新電鑄事情としてニッケル合金、貴金属電鑄によるMEMS部品生産の事例(薬品、装置)の一部を解説し、電鑄技術による新たな可能性を紹介する。

《プログラム》

- はじめに
- 電鑄の特徴
- 光ディスクスタンパーのトラブルシューティング
 - 3-1. ニッケル電鑄によるスタンパー種類
 - 3-2. 裏面突起による不良とは
 - 3-3. 突起削減試験
 - 3-3-1. 仕上げ電鑄条件による試験・結果
 - 3-3-2. アンモニア濃度管理による突起削減試験・結果
 - 3-3-3. 光沢剤添加試験・結果
 - 3-3-4. フィルター見直し試験・結果
 - 3-3-5. ピット防止剤の選定及び濃度管理試験・結果
 - 3-3-6. 最終決定条件によるロングランテスト結果
- ニッケル合金による電鑄部品
 - 4-1. 中空微細部品の製造工程
 - 4-2. ニッケル合金の特徴
- ロジウムによる電鑄部品
 - 5-1. ロジウムの特徴
 - 5-2. ロジウムによるMEMS部品
 - 5-3. ロジウム電鑄の課題と対策
 - 5-4. ロジウム電鑄に適したウエファー用めっき装置
- 電鑄による新たな可能性について
- 超精密電鑄金型の離型性向上について
- おわりに

【質疑応答】

『電鑄』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>